

# 大樹

～「大樹（たいじゅ）」の由来～

新一戸病院開院当時の副院長・藤原博先生が、『一戸病院が大樹のように立派に成長するように』との 意味合いを込めて命名しました。  
(題字 小井田 潤一 理事)

## 院長あいさつ

### 院長 佐々木 由佳



こんにちは、2021年4月1日から本院長を仰せつかりました。岩手医科大学で4年、県立病院では大船渡7年、中央13年、そして一戸病院は6年目になります。専門は精神医学一般です。

小井田前院長から引き継いだ内容も含め今期はこれまで行ってきた地域医療を組みなおし、まとまりをつけて取り組んでいくことになりました。

人口減少は言うまでもなく、当地域は高齢人口率高値かつ高齢者の自殺率も高く、これは認知症疾患や壮年期家族の余裕のなさなどが背景にあると思われます。そこで、今年度から認知症疾患医療センターおよび在宅医療科（訪問看護・診療）を開設し、福祉・介護・障がいと地域関係部署各位のご理解協力を戴き包括的に取り組むことになりました。病院の中で、あるいはご自宅で、病院の多職種スタッフが医療を提供いたします。双方を組み合わせるなどしてご利用戴きたいと思ひます。

さて、結果的に人類淘汰の域と化したCOVID-19、高齢化と人口減少化、対人コミュニケーションに関するいわゆるつながり方の変化、などなど想定内外の現象とともに生活しております。皆さんもおそらく同感とおっしゃるでしょう？かの有名なIps細胞・山中先生は、何事も好奇心を持って物事を観察することに生きがいを見出しているとおっしゃっておられました。このフレーズに共感です。煩い憂い事も含めさまざまな現象や結果に好奇心が芽生える人は表情が違うものですね。その人を見てるとエネルギーが湧いてきます。マスク下ですが皆さんの表情も含めたノンバーバル(非言語的)なメッセージをキャッチしたいですし、変化する地域社会から発信されるバーバル&ノンバーバルメッセージにマッチした病院で在りたいと思ひます。

## 《目次》

- 院長あいさつ . . . . P1
- 新任医師紹介 . . . . P2
- 特集1 在宅医療科の紹介 . . . . P3
- 特集2 認知症疾患医療センター . . . . P4-5
- 診療案内、外来診療表 . . . . P6



# 新任医師紹介

4月より、精神科医師の若い2名の先生をお迎えしました。  
よろしくお願いたします。

## 精神科医長 岩渕 碧



精神科医師の岩渕と申します。

今年4月より一戸病院で勤務させていただいております。

趣味はピアノ、弾き語り、セッションなど。学生時代はソフトテニス部でした。

(共通点ありましたらお声がけを (^ω^))・・・)

微力ながら県北地域の医療に貢献できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしく  
お願致します。



## 精神科医師 佐藤 洸



初めまして。佐藤洸と申します。

趣味はスニーカー集めとストリートファッションです。

特技は卓球です。

今年の目標は、分からないことはその日のうちに調べて解決することです。一応、歯科  
医師免許も持っておりますので、口腔内のことで何か疑問に感じたことありましたら是非  
聞いてください。

分からないことだらけで皆さんに色々ご迷惑おかけすると思いますが、よろしくお願  
致します。



# 在宅医療科の紹介

当院では「地域住民が安心して医療を受けられる環境づくり」として、「患者さんができるだけ住み慣れた地域で最後まで自分らしく生活を送ることができる」事を目標とし、平成 27 年 7 月より訪問診療・訪問看護を開始しました。



開始当初、手探り状態でのスタートで右往左往していましたが、地域の皆様のご支援のもと軌道に乗ることができました。これまで訪問部門として活動していた私達は、今年度 4 月より新設された「在宅医療科」として地域医療福祉連携室を始め、各関係部署と密に連携を取りながら毎日地域で活動しています。



訪問診療場面



創処置場面



配薬場面

右に示すグラフは、過去 4 年間の訪問診療・訪問看護件数の推移です。軒並み上昇傾向にあり、昨年度と比較し 130%の増加となっています。このグラフからわかるように、一戸町はここ数年で在宅医療・介護需要が急増し、医療・介護・福祉の垣根を越えた支援を必要としている患者さんが多くなっている事を身をもって感じています。



特に冬期間は寒さと氷と雪との戦いに苦戦していますが、「住み慣れた場所で暮らしたい」という希望をできるだけ叶えるため、日々挑戦しています。今後ともご支援のほどお願いします。



# 一戸病院 認知症疾患

当院では、岩手県の指定を受け、2021年4月より地域医療福祉連携室内に「地域認知症疾患医療センター」は、認知症の患者様とご家族が、住み慣れた地域認知症疾患における専門医療機関のひとつです。

## 認知症疾患医療センター長あいさつ

理事・認知症疾患医療センター長 小井田 潤一



このたび、令和3年4月1日より岩手県立一戸病院内に「認知症疾患医療センター」を開設することになりました。認知症につきましては、これまでも様々な形で、相談、診療に携わってききましたが、今ひとつわかりにくいという声があったと承知しておりました。そこで、院内に体制を整えまして、認知症に関連する診断、治療、介護保険、権利擁護、生活支援、などあらゆる関連する相談を「認知症疾患医療センター」にて、ワンストップで受けるようにしました。これにより、認知症について、様々な困りごとをお持ちの方々に対応できるものと考えております。専用の電話回線を引きまして相談を受ける他、地域連携室や外来窓口にも専従、専任スタッフを配置いたしまして、相談に対応いたします。さらには、地域啓発活動に積極的に取り組みます。講師派遣の要請は積極的にお引き受けしたいと考えております。どうぞご利用ください。

いずれにいたしましても、この地域で認知症にかかっても、あるいはご家族に認知症の方がおられても、明るい笑顔で生活できますよう支援して参りたいと考えております。

よろしく願いいたします。

## … 診察の流れ …

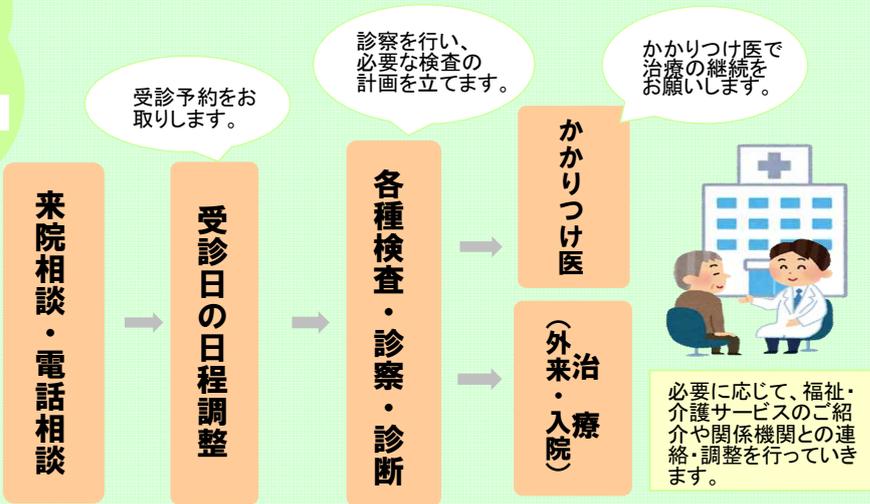
同じこと何度も言ったり、聞くようになった。  
身だしなみを気にしなくなった。  
お金や大事な物が盗まれたと家族を責めるようになった。  
些細なことで怒りやすくなった。

例えば、こんなときにご相談ください

介護や対応の仕方がわからない。  
受診させたいが、本人が行きたがらずに困っている。

まずはお困り事をお聞きます。

ご本人、ご家族だけでなく、医療・福祉関係の方もご相談いただけます。



# 医療センター

## ご紹介

型認知症疾患医療センター」を設置しました。  
で安心して生活ができるよう、都道府県が指定する病院に設置されるもので、

### … センターの業務 …

#### 1. 専門医療相談

認知症に関して困っていること等、  
ご本人やご家族からの相談に応じます。

#### 2. 認知症の鑑別診断

様々な検査を実施し、認知症の診断を行います。  
診断結果に基づき、治療方針を選定、治療します。  
必要に応じて、他の医療機関や介護、福祉サービスの紹介を行ないます。

#### 3. 認知症状の急性期対応

認知症の周辺症状(幻覚・妄想・徘徊・暴力等)や身体合併症が著しい場合、入院治療や他院へ紹介を行います。

#### 4. 関係機関との連携

地域包括支援センターや介護保険施設等関係機関との連絡・調整を行ない、介護から医療、医療から介護へとスムーズにつなげられるよう支援します。

医師や看護師、公認心理師、  
精神保健福祉士などの専門  
職が対応していきます。

どんなことでも構いません。  
ぜひ、ご相談ください!!  
お待ちしております。



## 認知症疾患医療センター

【場 所】岩手県立一戸病院

地域医療福祉連携室内

【電 話】0195-32-3153 (センター直通)

【受付時間】月曜日～金曜日 (祝・年末年始を除く)  
9:00～16:00

【相談料金】無料

## 【 診療案内 】

\*新患受付時間 8:30 ~ 11:30

\*再来受付時間 6:30 ~ 11:30 (自動受付機)

\*表の○は診療、空欄は診療がありません。

\*午後是一部診療科を除き、各診療科とも入院診療・検査などの対応です。

\*診療日が変更となる場合がありますのでご了承ください。

\*休診日は、土・日・祝日・年末年始です。

## 外来診療表(令和3年4月1日現在)

※○は、医師の所属病院

区分		月	火	水	木	金	備考
内科	午前	○	○	○	○	○	
循環器内科	午前				第3週(予約のみ)		(二戸病院)
脳神経内科	午前			○			(二戸病院)
腎臓内科	午後			第1水曜日のみ			(中央病院)毎月1回の診療 予約患者のみ
精神科	午前	○	○	○	○	○	
外科	午前	○		○		○	(岩手医大:金曜日のみ)
整形外科	午前	○				○	(診療は完全予約制です)(岩手医大)
皮膚科	午後		○				(診療は完全予約制です)(岩手医大)
耳鼻いんこう科	午前		○		○		診療は予約制です

※ 8月から耳鼻いんこう科の診療日程が、火曜日と木曜日 から 火曜日のみ に変更となります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

### 《基本理念》

「安全で安心できる温かい病院をめざして」

### 《基本方針》

1. 患者さんの人間性を尊重し、まごころのこもった患者中心の医療を展開するとともに、何でも相談に来てもらえる信頼される病院づくりに努めます。
2. 職員が働きがいを持てる職場環境づくりに努めます。
3. 最新の医療動向、地域の実情などに応じた改革改善の取り組みを継続し、経営の効率化に努めます。
4. 患者さんの地域での暮らしを支えるため、保健・医療・福祉との連携を密にします。

発行者：一戸病院広報委員会 (代)0195-33-3101